

# 平成30年度「SS課題研究」発表会

7月23日（月）にSS課題研究発表会を開催しました。

本校は、今年度から5年間、文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の第2期の指定を受け、「論理的思考で主体的に探究できるサイエンスエキスパートと科学的素養を備えたサイエンスサポーターの育成」を目指して事業を展開しています。

会場となったのは駿優教育会館で、今回は発表者の理数科3年生のほか、係員として理数科2年生、聴衆として1年生全員が参加しました。また、外部からは水戸二高の生徒、県内の高校教員、県教委、保護者等が参加する中での発表会でした。

今年の3月のSSH第2期指定を受け、発表会に先立ちスーパーサイエンスハイスクール指定書の授与が行われ、石井純一高校教育課長から高村祐一校長に指定書が渡されました。

午前中は8階の大ホールで口頭発表があり、はじめに理数科シンガポール海外研修報告を行った後、12グループの研究発表が行われました。風がシャボン玉に及ぼす影響や昆布からヨウ素を取り出す方法を追究したり、数字ゲームの必勝法を探ったりするなど、幅広い分野でユニークな研究がたくさん見られ、質疑応答も活発に行われました。科学的な内容の探究にとどまらず、英語の表現にも1年生にとっては少々難しい内容もありましたが、熱心に耳を傾け、質問をする生徒もいました。午後は、会場を5階のイベントスペースに移し、各グループによるポスター発表が行われました。会場のあちこちに人だかりができ、発表者は熱心に説明していました。参加したALTからの英語での質問に対して、一生懸命に英語で答える姿も見られました。

運営指導委員長である茨城大学理学部長の田内広先生からは、「緑岡高校の研究は、きちんと数字を用いて探究を行っており、その点はとても評価できます。今後はそれらの数値の処理の仕方や見せ方などを工夫して発表を行うとより良い発表会になります。」との講評をいただきました。



スーパーサイエンスハイスクール指定書授与式



口頭発表の様子



参加者からの質問の様子



ポスター発表の様子